

5年の歩み



八王子市市民活動支援センター
開設5周年記念誌

目 次

1. 挨拶	
おかげさまで設立5周年を迎えて	2
八王子市市民活動支援センター長	春 田 博
2. 祝 辞	
市民活動支援センター開設5周年を迎えて	3
八王子市市民活動推進部長	峯 尾 常 雄
“市民力を支える存在に！”	4
NPO 法人八王子市民活動協議会理事長	石 井 利 一
「市民力」と「協働」が元気のもと	5
初代 八王子市市民活動支援センター長	吉 永 鴻 一
3. 市民活動支援センターのあゆみ	
(1) 開設準備から現在までの主な経緯	6
(2) 協議会・支援センターの草創期	7
(3) 組織図	10
(4) 歴代スタッフ	11
4. 実施事業	
(1) 市民活動に関する相談	12
(2) 各種情報の収集と検索システムの運営	12
(3) 調査・研究活動	12
(4) 広報活動	
① 市民活動通信の発行	13
② ホームページの開設	13
③ パンフレットの作成	13
(5) 啓発活動	
① アクティブ市民塾の開催	14
② 市民活動入門講座の開催	14
(6) 施設サービスの提供	15
(7) 参考資料	
(資料一1) 市民活動通信発行のあゆみ	16
(資料一2) アクティブ市民塾開催のあゆみ	17
(資料一3) 市民活動入門講座開催のあゆみ	18
5. 編集後記	19
八王子市市民活動支援センターのご案内	19

団体紹介冊子



おかげさまで設立5周年を迎えて

八王子市市民活動支援センター長

春 田 博

八王子市市民活動支援センターは、皆様のご支援、ご協力をいただき、今年の6月24日に設立5周年を迎えました。

皆様にあらためて感謝申し上げますと共に、5周年の集大成として、多数の市民活動団体や行政のご協力を得て、6月20日から22日の3日間にわたり、「5周年ありがとう！支援センター祭り」の開催と共に5年間の歩みを記録した「記念誌」を刊行致しました。

振り返りますと、当支援センターは八王子市の「行政と市民活動団体（NPO）との協働のあり方に関する基本方針」に基づき、公益的な市民活動を支援するための支援拠点として、平成15年6月24日に「公設民営方式」により開設されました。

以来、今日まで市民活動の総合相談窓口機能の充実や一般市民、NPO、ボランティア、町会・自治会、企業、行政などとのネットワークの拡充と相互の連携を図り、コーディネートする「市民による市民のための」中間支援センターをめざし、日々、努力を重ねてまいりました。

おかげさまで、都内でも数少ない「公設民営のセンター」として注目され、近隣や遠く北海道から九州まで、地方議員や関係者の視察見学があいつぎました。

民ならではの特質としての「発想」「市民性」「柔軟性」「連帯性」や八王子市民活動協議会との連携、役割分担、行政との協働は「市民協働の成功事例」として高い評価を頂き、あらためて当センターに対する期待度の高さを再認識させられました。

また、平成18年度、19年度に実施した、利用者「市民満足度調査」結果によりまして市民からは大変好意的な評価とご支持を頂きました。

これに満足する事なく、今後、支援センターに望まれる支援活動として、①活動資金（助成金等）情報の提供、②活動の場所・機会の提供、③備品・器材等の物品仲介、④啓発・広報活動、その他の組織との連携など、ネットワークづくりを基本に、地域社会の諸課題の解決や支援に貢献すべく、スタッフ一同、センター組織機能を発揮し、皆様のご期待に応えてまいります。

今後とも引き続きご支援、ご協力の程お願い申し上げます。



市民活動支援センター開設 5 周年を迎えて

八王子市市民活動推進部長

峯 尾 常 雄

市民活動支援センターは、平成15年6月24日に市民の自発的な社会貢献活動を積極的に支援し、促進するために開設いたしました。以来、まちづくり、環境、福祉、国際交流など多岐にわたる分野における市民活動の促進のため、情報提供、啓発事業、そして調査研究活動などを展開し、平成20年で5周年を迎えることとなりました。

一方、開設当初では市内に事務所を置く特定非営利活動法人数が65であったものが、平成19年度末には181にまで増加しており、行政だけでは担いきれない公共サービスを、地域住民が担っていこうという、いわゆる「新しい公共」が益々盛んになってきております。

このような中、市民活動支援センターは、中心市街地という立地条件の良さとともに、様々な分野で公共サービスの担い手として活躍する市民活動団体や市民の皆さまの熱い思いに支えられ、開設以来のご利用件数は11,000件を超えております。これも、場所をご提供いただいている(株)八王子薬剤センター様と、指定管理者として管理・運営いただいている特定非営利活動法人八王子市民活動協議会の皆さまのご協力とご尽力によるものであり、改めて敬意を表するとともに、厚くお礼申し上げます次第です。

さて、本市は、地域課題の解決や共通する目標の実現に向かって、行政と町会・自治会、市民活動団体、大学、企業等がそれぞれ相互に連携をとりあい、協力・協調する「協働によるまちづくり」を進めています。

昨年からは団塊世代の一斉退職を迎え、市は、団塊やシニア世代の方に、ご自身が持つ知識や経験をまちづくりに活かしていただこうと、地域参加に関して総合的に支援する「団塊世代等地域参加支援デスク」を設置し、より多くの方に地域活動等へご参加いただけるよう取り組んでいるところであり、そのような中で、市民活動は益々活発になると思われます。

今後も、市民活動支援センターが、地域力、市民力ともいえる市民活動の拠点として、大いに活用されることを願いまして、開設5周年の御挨拶とさせていただきます。



“ 市民力を支える存在に！”

～～5周年は飛躍への踏み台～～



特定非営利活動法人 八王子市民活動協議会
理事長 石 井 利 一

想いおこせば5年前の平成15年6月、前年に結成されたばかりの100%民間の団体である八王子市民活動協議会が、八王子市から現在の八王子市市民活動支援センターの運営を委託されたのでした。

当時は何の経験も無く、不安だらけのスタートでしたが、八王子市の市民活動推進部（発足当時は生涯学習部）の皆さんや協議会加盟の各団体の皆さんのご支援でヨチヨチ歩きを始めました。以後、協議会と支援センターは一心同体となって歩んできました。全国的に見ますと支援センターの運営は官営で行われているケースが多い中で、八王子のケースは数少ない民営の市民活動支援センターとして各方面から注目を浴びてきました。

支援センターの役割は、市内外で活躍している多くの市民活動団体に対して、より一層の市民活動活性化を図るべく相互の連携や、いろいろな支援策・情報の提供を行うことと、一般市民の皆さんが市民活動へ入っていく際のお手伝いをする事です。

そのためには、何にも先んじて支援センターの存在を市民の皆さんに知って頂かねばなりません。この5年間は、支援センターのスタッフの皆さんや協議会関係者の努力で、次々といろいろな企画やイベントを催し、知名度向上に大きな成果があったと思います。

何よりも日常の来訪者への対応を大切に、市民の方々が気軽に立ち寄れる雰囲気を作ってきたスタッフの皆さんに感謝いたします。「市民活動通信」やホームページでの広報活動も大きな成果です。昨年50回を記録して、記念誌を発行した「アクティブ市民塾」は支援センターの重要行事である啓発事業の着実な歩みの金字塔でした。

5年という貴重な経験を積み重ねた市民活動支援センターが、これからも益々、八王子の市民活動団体の皆さんから頼り甲斐のある存在として認められ、また、市民の皆さんが気軽に立ち寄って、市民活動への相談が何でも出来るような存在になって欲しいと願っています。

私共、八王子市民活動協議会関係者は、これからも市民活動支援センターのスタッフの皆さんとともに、八王子の市民力を支える存在になるよう頑張っていきたいと思っています。





「市民力」と「協働」が元気のもと

初代 支援センター長 吉 永 鴻 一

5周年を心よりお祝い申し上げます。センターが、市民活動活性化の全国モデルとしての評価を益々高めておられることをいつも嬉しく拝見しております。

おかげさまで、八王子は、様々な立場の方々の“志”を横つなぎして、市民力づくりも協働体制づくりも、そこそこ順調に進んでいると思います。自分の特徴を存分に活かしながら、他者に喜びを提供し、いきいきと楽しく暮らす市民が増えていて、夢と希望のあるまちを創りつつあります。が、まだまだ充分ではありません。生活現場を注視してみると「課題は満載、油断は禁物、やることいっぱい」です。

地球の温暖化も尋常ではありません。日本全体を見ても、要求ばかりで変革にチャレンジしない自治体の破綻、弱い立場にある子どもや高齢者への社会のひずみのしわ寄せ、信じられないくらい荒廃した子どもや大人の心のゆがみ、将来に希望を持ってない若者の増加などなど、文化滅亡の危機感はつのる一方です。

そういう中で、閉塞感に覆われた国を蘇らせ、ひととまちを元気にするキーワードは「市民力」と「協働」ではないでしょうか。中間支援センターの役割そのものだと思います。お上からしてもらうのではなく市民自らが主体となって自分でできることを実践していく姿勢、あるいは、異なった団体同士が横つなぎする新たなチャレンジなしには、複雑化した課題解決の道はありません。

一方、変革へのチャレンジは、市民に楽しい仲間と連帯感と生き甲斐とをもたらせてくれます。「地域での子ども支援は超急務！」を横展開している子ども支援活動などでもそのことは実感しています。

市民が「みんな元気にな～れ！」と強く願って、市民活動活性化を力強く推し進めていけば、「持続可能な社会」をひ孫たちに引き継ぐことは、可能だと思います。まだ間に合います。

市民活動支援センターが、その中核となり、市民から頼られる存在として、益々発展されることを心から祈念しております。

3. 市民活動支援センターのあゆみ

(1) 開設準備から現在までの主な経緯

- 平成12年6月 八王子市の庁内検討組織「行政と民間非営利団体との協働のあり方研究会」が設置される。
- 平成13年8月 同上研究会が「行政と市民活動団体（NPO）との協働のあり方に関する研究報告書」をまとめる。
- 平成14年2月 ・「行政と市民活動団体（NPO）との協働のあり方に関する基本方針」が決定され、同月、八王子市と市内NPO法人との情報交換会が開催される。
・「八王子NPO協議会」（仮称）の設立に向け、準備会設置についての同意を得る。
- 平成14年3月 市内NPO法人23団体が「八王子市民活動協議会設立準備会」を設立（以後10月までの間、11回開催する。）
- 平成14年4月 （株）八王子薬剤センターから自社ビル建設にあたり、「八王子の再生」「中心市街地の活性化」等に資する公共的な利用を条件に、ワンフロアを無償提供したい旨の申し出があり、八王子市として借り上げることを政策決定。ここに「市民活動支援センター」を整備することになる。
- 平成14年9月 「八王子市民活動協議会」設立当初の理事を一般公募する。
- 平成14年11月 「八王子市民活動協議会」を設立する。
- 平成15年6月 6月24日「八王子市市民活動支援センター」開設
同支援センターの管理運営業務を「八王子市民活動協議会」が受託した。
- 平成17年12月 「八王子市民活動協議会」が法人格を取得し、「特定非営利活動法人 八王子市民活動協議会」となる。
- 平成18年4月 「特定非営利活動法人 八王子市民活動協議会」が、八王子市の指定管理者として「八王子市市民活動支援センター」を管理運営することになり、現在に至る。



（２）協議会・支援センターの草創期

平成１４年に協議会が設立され、翌年の支援センター発足に向けての活動が本格的に始まりました。平成１５年６月の支援センターの開設から二年くらいの草創期の活動は、関係者一同にとって、将に暗中模索の活動でした。

当時は支援センターの立ち上げが協議会の最大の任務であり、一方、支援センターの側ではスタッフは揃えたものの、どうしてよいかわからないという状態でした。協議会の理事達が無償のスタッフとして支援センターのスタッフと一緒に、渾然一体となって立ち上げ活動をした時期でした。組織的には両者が不可分の組織形態を取らざるを得なかったため、いろいろ批判がありましたが、立ち上げ段階としては止むを得なかったと思います。

この時期の記録を整理するに当たり、極力、正確を期しました。後から見ると当事者でも不可解に思える組織でしたが、結果的にはベストな運営だったと思います。（理事長：石井利一）

年 月 日	協 議 会	支 援 セ ン タ ー
H.14.11.4	協議会第１回総会・・・協議会の設立会長：扇沢正治 副会長：坂元芳彦、浅野里恵子、武藤龍治、石井利一、小田島康子。	
H.14.11.12	第１回理事会・・・１部５プロジェクトの設置・・・事務局（吉岡奈津絵） 財務部（坂元芳彦、武藤龍治）、広報Ｐ（福山清、大森一美）協働推進Ｐ（伊藤勲）、政策提言Ｐ（渡辺文夫）、ネットワーク（田倉初男、富樫康明）、支援センター（大野聖二）	協議会内に支援センター開設準備の為にプロジェクトが設置され、協議会理事により支援センター機能、事務局機能等の検討が始まった。
H.15.4.15	第７回理事会・・・体制の見直し １．事務局を三役会で代行。 ２．市民活動支援センター運営委員会の設置	支援センタープロジェクトの再編 リーダー：福田稔（理事） メンバー：扇沢正治（会長）、石井利一（副会長）、春本高夫（理事）、牧野一三（理事）。
H.15.5.29	協議会第２回定例総会・新理事決定 会長：浅野里恵子 副会長：石井利一、梅本和比古、大森一美、関谷真一、吉岡奈津絵。	
H.15.6.10	第２回理事会・・・総務（石井）、相談（吉岡）、DB（関谷）、啓発（大森）、広報・ネットワーク（梅本）、吉永鴻一（理事）：協議会事務局長	協議会内に「支援センター運営のための専門部会」が設置された・・・総務部、事業部（相談、データベース、啓発）、広報・ネットワーク部の３部構成。
H.15.6.24		支援センター発足 支援センター長・・・吉永鴻一（協議会事務局長兼務） 支援センター・スタッフ（１１名） ＜勤務日程＞ 平日：火～土（一日３交替、午前、午後、夜間の各４時間勤務） 日曜日：午前～午後７.５時間勤務
H.15.7.16	第３回理事会・・・「従来からの専門部会」と「６月設置の専門部会」の統合再整理を行った。 総務部（石井）・・・財務担当（吉岡） 相談部（吉永）・・・専門相談（吉岡）デ	協議会の専門部で直接的に支援センターへ関係する部は、DB、啓発、相談、広報の各部。 総務は協議会の立場からセンターの諸規程、財務チェックを担当。

	データベース部（関谷） 啓発部（大森）、広報部（梅本）	
H.16.3.17	第11回理事会・・・平成16年度の体制について決定（実施：4月） ＊ 支援センターの組織改編 ＊ 支援センター運営委員会設置	
H.16.4.7	第12回理事会・・・専門部会に「協働推進部」を追加。部長（吉岡）。	
H.16.5.15	協議会第3回定例総会・・・3月理事会決定の支援センター新体制を追認。（4月から実施） 役員構成は変更なし。	支援センター運営委員会 ＊ 運営委員長・・・浅野会長 ＊ 運営委員・・・各部長（三役・センター長）及び市関係者 ＊ 議決・・・全会一致方式 この結果、支援センターの業務は大きく二分されて運用された。 支援センター・スタッフ：センター長（常勤）副センター長（常勤・・・協議会事務局局長兼務）セミ常勤、非常勤 業務：市民及び市民活動団体との直接窓口対応。 運営委員会委員： 総務部、広報部（＊）、啓発部（＊）、DB部（＊）、専門相談部の事業は部長と部員で担当（理事・支援センタースタッフ有志） （＊）には専門の担当幹事配置
H.16.6.18	第1回理事会・・・「協議会専門部会及び支援センター事業部会の運用細則」制定	従来、渾然一体で運営されていた事業部会の中身を協議会独自事業と支援センター事業に分けて、区分を明確にした。但し、運用上、部長と部員は共通のままでスタートした。
H.17.3.16	第7回理事会・・・17年度の新支援センター体制と新年度から「支援センター担当理事」を置くことを決定。 「協働推進部」の名称を「市民事業開発部」に変更。	
H.17.5.22	協議会第4回定例総会：新役員選出 会長：浅野里恵子（政策提言） 副会長：石井利一（総務）、 関谷真一（DB）、大森一美（啓発）、 大山孝（広報）、 坂野大義（市民事業開発） 支援センター長：吉永鴻一（相談）	17年度の体制 センター長（常勤） 副センター長（常勤） コーディネーター 2名 総務担当スタッフ 1名 専任幹事 4名 支援センター担当理事：浅野里恵子
H.17.7.24	NPO法人化のための設立総会・・・翌年度に予定された指定管理者制度導入に向けて協議会を「特定非営利活動法人」とした。	
H.17.12.5	NPO法人として登記完了	
H.18.3.15	第9回理事会・・・18年度の支援セン	

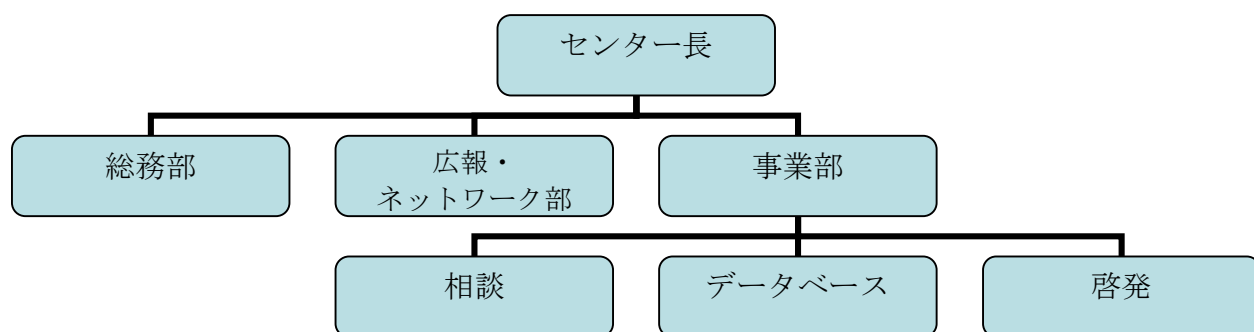
	ター新体制を決議。 支援センター運営企画会議規程及び 支援センター会議規程の制定。	
H.18.4.1	協議会は平成18年度から八王子市の 指定管理者として支援センターの運営 受託。 支援センターは協議会の独立した一部 門として位置づけられ、協議会と支援セ ンターの協議機関として「支援センター 運営企画会議」が設置された。	新生支援センターとしてスタート。 1. センター長：春田 博（理事） 2. 組織改訂（協議会と分けた運営） 3. 支援センター担当理事の廃止 4. 支援センター企画運営会議設置 5. 支援センター会議のスタート（スタッ フによる事業運営会議） 6. スタッフ体制 支援センター長（常勤）、副センター長 （常勤）、セミ常勤スタッフ（総務・相 談）3名、非常勤スタッフ（広報、啓発、 HP、DB担当）4名。

※ 歴代協議会正副会長（正副理事長）

平成14年11月	（会長）：扇沢正治	（副会長）：坂元芳彦 （副会長）：浅野里恵子 （副会長）：武藤龍治 （副会長）：石井利一 （副会長）：小田島康子
平成15年5月	（会長）：浅野里恵子	（副会長）：石井利一 （副会長）：梅本和比古 （副会長）：大森一美 （副会長）：関谷真一 （副会長）：吉岡奈津絵
平成17年5月	（会長）：浅野里恵子 （政策提言）	（副会長）：石井利一（総務） （副会長）：大山孝（広報） （副会長）：大森一美（啓発） （副会長）：関谷真一（DB） （副会長）：坂野大義（市民事業開発）
平成18年5月	（理事長）：石井利一	（副理事長）：塩澤迪夫（総務） （副理事長）：浅野里恵子（NPOハウス開発） （副理事長）：大山孝（政策研究） （副理事長）：大森一美（ネットワーク推進） （副理事長）：坂野大義（人材育成）
平成20年5月	（理事長）：石井利一	（副理事長）：塩澤迪夫（総務） （副理事長）：浅野里恵子（NPOハウス推進） （副理事長）：大山孝（政策研究） （副理事長）：大森一美（ネットワーク推進） （副理事長）：関谷真一（人材育成）

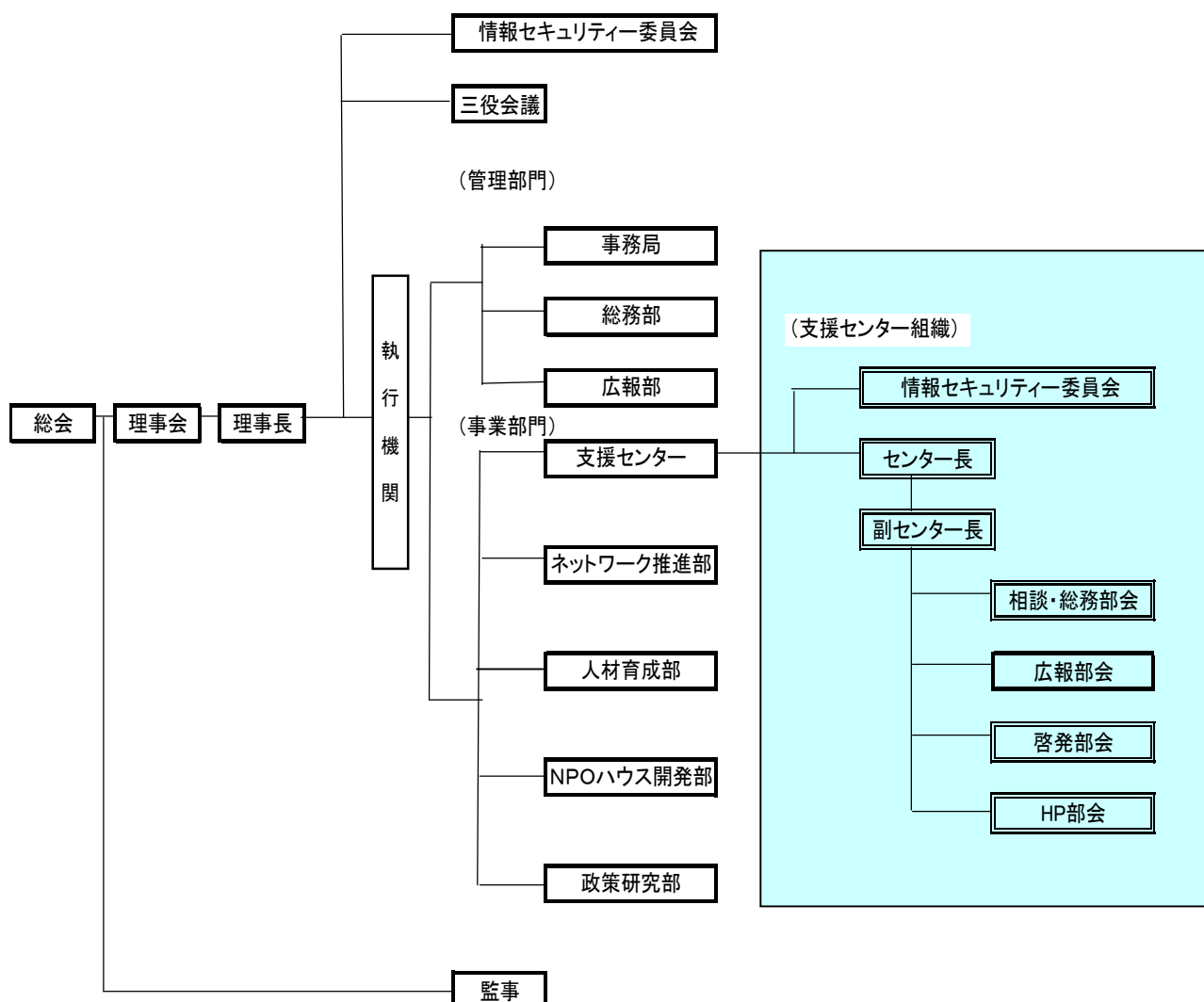
(3) 組 織 図

(支援センター設立時の運営体制図)



(現行の運営体制)

八王子市民活動協議会 組織概念図



(4) 歴代スタッフ

歴代スタッフ採用年度別一覧

年度	氏 名	主 な 担 当 職 務	備 考
1	吉 永 鴻 一	支援センター長(協議会事務局長兼務)・(協議会理事)	
2	佐 藤 栄 一	受付・接遇	中途退職
3	大 平 和	受付・接遇	年度末退職
4	大 平 三 恵 子	受付・接遇	年度末退職
5	吉 岡 正 博	受付・接遇	年度末退職
6	上 村 明	受付・接遇	年度末退職
7	布 施 馨	受付・接遇	年度末退職
8	植 村 昇	受付・接遇	
9	高 橋 浄	受付・接遇	年度末退職
10	木 住 野 茂 夫	受付・接遇	
11	杉 田 茂 雄	受付・接遇	
12	坂 野 大 義	受付・接遇	
1	吉 永 鴻 一	支援センター長・(協議会理事)	
2	竹 田 政 行	副センター長(協議会事務局長兼務)・(協議会理事)	年度末退職
3	福 田 彩 子	コーディネーター	年度末退職
4	佐 藤 美 貴	受付・接遇	年度末退職
5	澤 田 淑 子	受付・接遇	年度末退職
6	小 川 優 子	受付・接遇	年度末退職
7	木 住 野 茂 夫	DB担当幹事	年度末退職
8	植 村 昇	広報部HP担当幹事	
9	杉 田 茂 雄	広報部幹事	
10	坂 野 大 義	啓発部幹事	理事立候補
1	吉 永 鴻 一	支援センター長・(協議会理事)	年度末退職
2	廣 川 英 資	副センター長(協議会事務局長兼務)・(協議会理事)	年度末退職
3	大 福 族 生	啓発部幹事	理事立候補
4	植 村 昇	広報部HP担当幹事	
5	杉 田 茂 雄	広報部幹事	
6	小 暮 洋 子	コーディネーター	年度末退職
7	惟 村 香 里	コーディネーター	
8	渡 辺 一 郎	DB部幹事	
9	関 口 志 津 子	総務(会員管理等)	年度末退職
1	春 田 博	支援センター長・(協議会理事)	
2	榊 原 信 夫	副センター長・(協議会理事)	
3	植 村 昇	啓発部幹事	
4	杉 田 茂 雄	広報部幹事	
5	渡 辺 一 郎	DB部幹事	年度末退職
6	斉 藤 剛 伸	広報部HP担当幹事	
7	河 野 満 智 子	コーディネーター	
8	惟 村 香 里	コーディネーター	
9	小 暮 洋 子	コーディネーター	年度末退職
1	春 田 博	支援センター長・(協議会理事)	
2	榊 原 信 夫	副センター長・(協議会理事)	
3	植 村 昇	啓発部幹事	
4	杉 田 茂 雄	広報部幹事	
5	斉 藤 剛 伸	HP部幹事	
6	河 野 満 智 子	コーディネーター	(9月末退職)
7	大 平 高 子	コーディネーター	
8	川 久 保 美 紀 子	コーディネーター	(12月採用)
9	惟 村 香 里	コーディネーター	
1	春 田 博	支援センター長・(協議会理事)	
2	榊 原 信 夫	副センター長・(協議会理事)	(5月末退職)
3	植 村 昇	啓発部幹事⇒副センター長・(協議会理事)	
4	杉 田 茂 雄	広報部幹事⇒(協議会広報部長)・(協議会理事)	
5	斉 藤 剛 伸	HP部幹事	
6	関 俊 朗	啓発部幹事・(協議会理事)	(6月採用)
7	大 平 高 子	コーディネーター	
8	川 久 保 美 紀 子	コーディネーター	
9	惟 村 香 里	コーディネーター	

4. 実施事業

(1) 市民活動に関する相談

様々なボランティアの紹介や市民活動に関する相談は、支援センターの大切な機能として窓口や電話・インターネット等で、現在5名のスタッフで対応しています。

また、税務、法律等の専門相談は、外部の専門家の協力を得た体制で相談に対応しています。

主な相談案件は

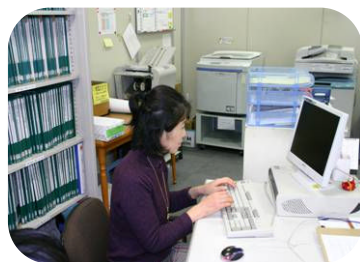
- ・ NPO、市民活動に関わる相談、情報提供
- ・ NPO法人設立、運営に関わる相談
- ・ 助成金申請に向けた相談、情報提供等の支援
- ・ 行政、企業、NPO、大学、市民、中間支援組織、町会・自治会等の各種組織とのネットワーク、交流、コーディネートに関する相談
- ・ 支援センター視察、学生インターン実習生の受け入れ
- ・ 都立高等学校の「奉仕」の授業のコーディネート支援
- ・ 他市からの相談（公設・民営の施設、団塊世代の地域活動に関する案件が多い。）
- ・ 講師派遣等の相談



(2) 各種情報の収集と検索システムの運営

「相談窓口コーナー」の資料整備を図るとともに、データベースを構築して、様々な相談に迅速かつ効果的な対応ができるよう、市民が利用できるPCを設置しています。

- ・ 市民活動団体情報グリーンファイル（紙情報） 798団体
- ・ 関連図書 約350冊
- ・ 地域行事、イベント等の収録ビデオ 60巻
- ・ 八王子市内NPO法人（181団体）の情報を、国（22）・都（159）からダウンロード
- ・ 八王子市便利データ 798件（市のホームページデータを検索し易いように加工）
- ・ 助成財団センター発行「NPO/市民活動のための助成金応募ガイド2008」等
- ・ その他、市内社会福祉法人、障害者施設、作業場、介護事業者（市発行資料を編集）



(3) 調査・研究活動

市民活動支援センターが把握すべき、地域のニーズや市民活動に関連する課題を調査、研究し、その結果を事業展開に生かしています。

- ・ 平成18年、19年度の支援センターに対する「市民満足度調査」報告書を作成し公表しています。
- ・ 平成19年度都立高等学校における「奉仕」の授業コーディネート報告書を作成し、公表しています。

(4) 広報活動

① 市民活動通信の発行 【A4判 4ページ A3裏表印刷】

広報紙「市民活動通信」は、発足当時は年4回四半期ごとに各3,000部発行していましたが、平成18年度から年6回奇数月の1日に各5,000部発行しています。平成17年度から、毎回、八王子市の「市民企画事業補助金交付団体」の活動内容を掲載しています。

18年度からは、町会・自治会活動等にも目を向け、地域の特色ある地域活動等を紙面に掲載し、該当の町会・自治会の組織を通じて地域内に全戸配布等を行ってきました。

広報紙の配布先は、市内の公共施設や市民活動団体・NPO法人、駅の広報スタンド、広報紙掲載団体等のほか、希望する町会自治会等にも配布しています。

※（市民活動通信の発行のあゆみは、P16（資料-1）を参照してください。）



② ホームページの開設

支援センターのホームページは、センターオープンの約1ヶ月後（平成15年7月28日）に開設しました。

主な掲載内容は、施設の案内やセンターイベントの紹介、市民活動団体の紹介、助成金情報、「市民活動通信」の掲載などです。2週間に一度のペースで更新を行いました。

平成17年1月に全面リニューアルし、新たに、「市民活動を楽しもう」「センターからのお知らせ」「スタッフ日記」「貸出図書・ビデオ一覧」「ご意見・ご相談はこちら」（フォームメール）「会議室予約状況」などを追加しました。また、更新頻度はHPの即時性を生かすべく、随時更新を行うようにしています。

現在は、特に助成金情報を重視して載せるように心がけています。

※（ホームページのアドレスは、P19の支援センターのご案内を参照して下さい。）

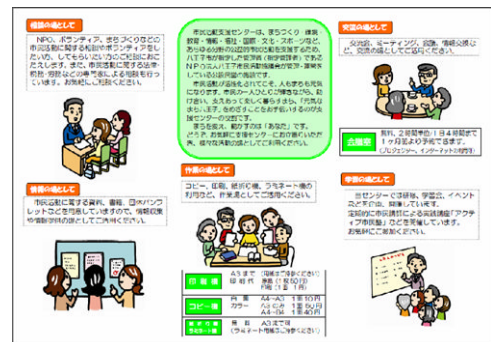


③ パンフレットの作成（A4判 3つ折 裏表印刷）

下記のパンフレットは、平成18年度にリニューアルしたものです。



(表)



(裏)

(5) 啓発活動

① アクティブ市民塾の開催

「アクティブ市民塾」は、八王子市周辺で元気いっぱい活動する市民活動団体を、一般市民の方に紹介する目的で企画しました。

八王子のNPO法人数は181団体（平成20年3月31日現在）ありますが、任意団体を含めると500～600団体あるとも言われています。これらの活動の状況は、一般市民の皆さんに十分に知られているとは限りません。従って支援センターとしては、有意義な活動の姿を知っていただき、多くの方々にこれらの活動に参加して頂きたいと願っています。支援センターの開設当時は「アクティブ市民大学」と称し、月2回開催していましたが、2年目から「アクティブ市民塾」に改称し、月1回の開催としました。

支援センターの会議室で行う為、参加者30名程度のアットホームなミニ講座ですが、最近では座学だけでなく、実際の活動を体験する参加型の講座も行っています。

また、「アクティブ市民塾」の講座を引き受けた市民団体も、これがきっかけで横のつながりが広がり、新たな活動に発展すると喜ばれています。

「アクティブ市民塾」は、この6月で63回を数えます。是非皆さんのご参加をお待ちしています。

※（アクティブ市民塾の開催のあゆみは、P17（資料－2）を参照してください。）



平成18年9月
タクシードライバーから福祉・移送サービスへ
（NPO法人ケアセンター八王子）

② 市民活動入門講座の開催

自分のやりたいことや地域の課題解決のために、地元の人たちと一緒に活動するには、まず何から始めたらよいのでしょうか。「アクティブ市民塾」が、既に活動している団体を紹介する講座であるのに対し、この「入門講座」は、私たちが実際に市民活動を行うための基礎知識やノウハウを習得することを目的に企画されました。市民活動は趣味の団体と違い、行政や企業・地域の町会自治会との協働、団体同士の協働により活動することがあり、また様々な考えを持った人たちが一緒になって団体を組織します。そのために、団体運営の知識・課題解決の手法や法律・行政の知識、助成金獲得のためのノウハウなど、様々なことを学ぶことが大切です。入門講座の講師は、大学の教授や各方面の専門家の方々、行政や時には市民活動団体の方々をお願いしております。年に3回実施し、参加者は50～70名程度です。最近では、「団塊世代向けの基礎講座」や「団体の収益事業のための起業講座」、「会社の現役世代を対象とした出前講座」なども行っています。



※（市民活動入門講座の開催のあゆみは、P18（資料－3）を参照してください。）

(6) 施設サービスの提供

支援センターに備え付けられた設備には、会議室・印刷機・コピー機・紙折り機・ビデオデッキ・テレビ・パソコン・プロジェクター・スクリーン・図書・ラミネーター・ビデオとDVDソフトなどがあります。

印刷機・コピー機以外は無料で借りることができます。センター開設以来、皆さまのご要望に応じて、少しずつ設備を増やしてきましたが、まだ応じきれていないのが現状です。

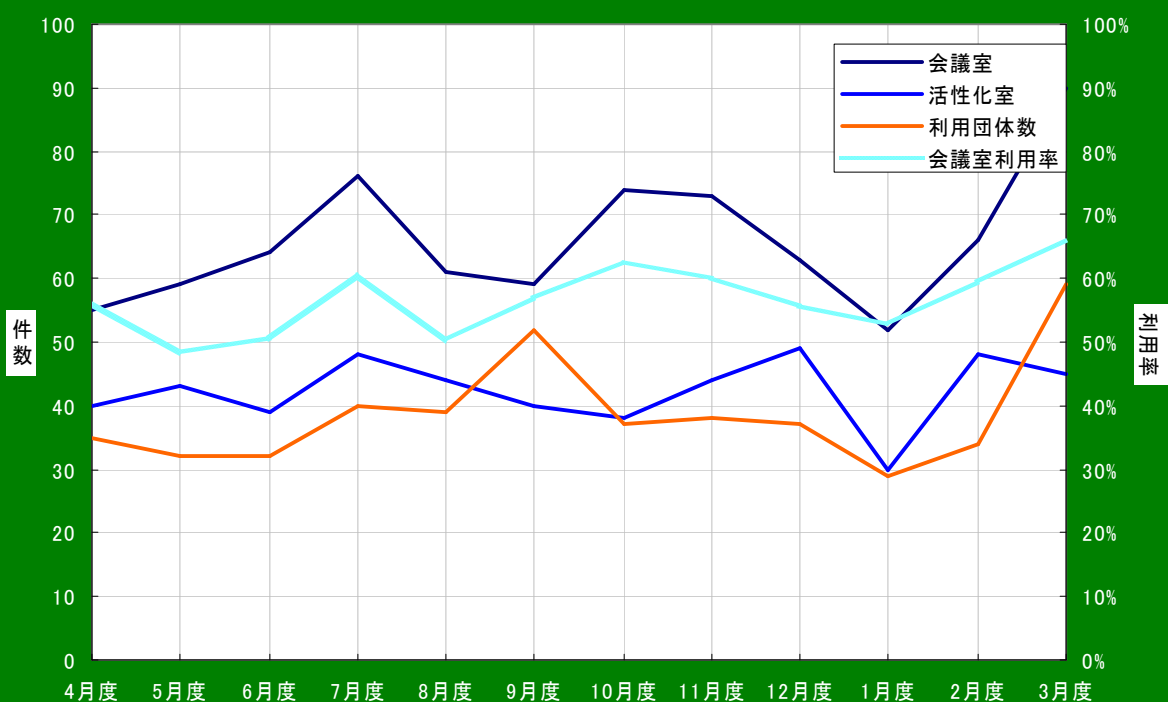
しかし、無料の会議室は市内の施設でも少なく、当センターの特長で皆さまから喜ばれております。30名程度の小会議室ですが2室あり、



非常に多くの団体から有効活用されております（ご利用に際しては事前登録が必要です）。また、印刷機も各団体のチラシ作成などで、多くの方がご利用されております。

センター開設以来、ご利用状況は年々増えておりますが、これからも市民団体の活動に有効活用して頂けるよう努力して参ります。

八王子市市民活動支援センター
平成19年度 会議室利用状況



(資料-1)

「市民活動通信」発行のあゆみ

年度	発行月日	号数	1面掲載内容
平成十五年	9月1日	創刊号(秋号)	「八王子市市民活動支援センターをどうぞよろしく！」 八王子市市民活動推進部長 「子どもたちがふるさとと思える街づくりを」 八王子市民活動協議会会長 囲み記事：通信の愛称募集
	12月1日	第2号(冬号)	市民活動入門講座 「市民活動でみんな元気にな～れ」 囲み記事：通信の愛称募集
	3月1日	第3号(春号)	第2回「お父さんお帰りのパーティー」 囲み記事：アクティブ市民大学の名称が変わります
平成十六年度	6月1日	第4号(夏号)	「市民活動支援センター開設一周年を迎えて」 八王子市市民活動支援センター長、八王子市民活動協議会会長 囲み記事：6月24日センター開設一周年記念イベント
	9月1日	第5号(秋号)	市民活動紹介 「みなさんも市民活動に参加してみませんか？」 八王子お手玉の会、子育てママの応援
	12月1日	第6号(冬号)	「相談あれこれ」 ・お気軽に相談にお越しください ・相談事例
	3月1日	第7号(春号)	「若者のパワーを生かそう 地域に、社会に、世界に！」 市民活動入門講座 参加5団体の活動報告
平成十七年度	6月1日	第8号(夏号)	「今年度の支援センターの活動計画」
	9月1日	第9号(秋号)	「～公園を市民協働でつくるとりくみ～」 小田野中央公園をつくる会
	12月1日	第10号(冬号)	市民活動入門講座開催！ 交流会の開催 地球温暖化防止を考える 「いったい、私に何ができるの？」
	3月1日	第11号(春号)	「3/11 市民活動入門講座開催！」 保育サービスひまわりママ 囲み記事：支援センターにご期待を！
平成十八年度	5月1日	第12号	「協働による公園整備」(小田野中央公園) 小田野中央公園をつくる会 囲み記事：インターンシップ体験報告
	7月1日	第13号	「地域の安全は地域で守ろう！」 片倉台自治会の防犯パトロール (片倉台自治会)
	9月1日	第14号	「楽しみながら地域防災」 元本郷町会の総合体験フェアー (元本郷町会)
	11月1日	第15号	「住環境の充実を目指して！」 手をつなぐマンション同士 (鑑水(やりみず)第二団地自治会)
	1月1日	第16号	「地域の子どもは地域で見守る！」 唐松町会の取り組み “「私立からまつ学童保育所」として新たにスタート” (唐松町会)
	3月1日	第17号	「高尾梅郷まつり」へ 3月10日・11日 春風と一緒に、出かけてみませんか！ (高尾梅郷まつり実行委員会)
平成十九年度	5月1日	第18号	「支援センターに関する市民満足度調査結果」
	7月1日	第19号	「隣の人の顔が見えるまちづくりを！」 ～総合力を活かして町の活性化を図る「めじろ台」の取り組み～ (めじろ台一～四丁目町会)
	9月1日	第20号	「防犯パトロールとふれあいサロンで活性化を図る横川住宅の取り組み」 (横川町住宅自治会)
	11月1日	第21号	長房町水崎町会の取り組み 「子供の安全を図る！」 ビーボくんの家めぐり(ラリー) (長房町水崎町会)
	1月1日	第22号	「高齢化が進む中で地域をいかに活性化するか！」 南陽台自治会の取り組み (南陽台自治会)
	3月1日	第23号	「基本は向こう三軒両隣り！」 “地域社会づくりを支援する町自連” (八王子市町会自治会連合会)
二十年度	5月1日	第24号	「支援センター5周年の記念事業のご案内！」

(資料-2)

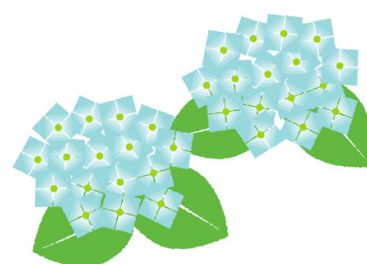
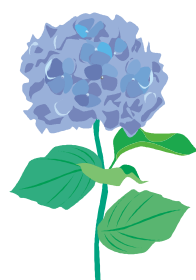
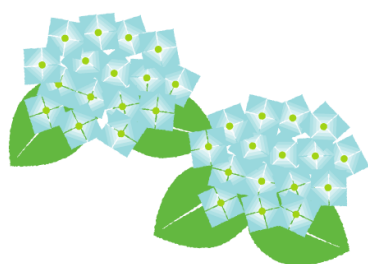
アクティブ市民塾開催のあゆみ

年度	開催日	団 体 名	テ ー マ
平成十五年	10月11日	八丈緑遊会	里山ボランティア活動の勧め
	10月22日	高尾パークボランティア会	高尾の魅力とこれからのボランティア活動
	11月8日	みずき通り商店会	みずき通りの実践
	11月26日	浅川流域市民フォーラム	浅川をまちづくりに活かす
	12月13日	NPO法人長寿社会を考える会	住み慣れた地域社会で暮したい
	12月24日	ゆうやけの里 地域福祉フォーラム	誰もがいきいきと地域の中で暮らし続けるために
	1月10日	NPO法人保育所 風の子	保育園をNPO法人で開設する意義
	1月28日	ひとみ助産院・子育ての会 わらわら	くらし・子ども・出会いを楽しむ
	2月14日	NPO法人21世紀自然循環研究所	環境・農業・雇用を生ゴミがつなぐコミュニティビジネス
	2月25日	NPO法人食事サービス 加多厨	地域で自分らしく働きたい
	3月13日	NPO法人八王子レクリエーション協会	社会参加のすすめ
	3月24日	NPO法人子どもネット “八王子”	親と子どもが自信を持っていきいきと暮せることを願って
平成十六年度	4月17日	八王子国際友好クラブ（H I F C）	草の根の国際交流16年
	5月15日	NPO法人ふるさとを拓く会	風土に根ざした食生活
	6月19日	NPO法人シニアネットクラブ	高齢者のすてきなパソコンライフ
	7月17日	福祉レクリエーション研究会	高齢者の自立支援・介護予防
	8月21日	東南部環境市民会議	八王子市民が考えた「ごみ辞典」
	9月18日	八王子千人同心旧交会	幕末に活躍した多摩人
	10月16日	NPO法人チェロコンサートコミュニティ	音楽活動を通じた国際交流を八王子で
	11月20日	CAP(子ども虐待防止)市民ネットたま	虐待防止活動から見えてくると、市民ができること
	12月18日	NPO法人くらしとこころのサポートネットワーク八王子	精神障害を持つ方への地域生活支援活動の現場から
	1月15日	NPO法人若駒ライフサポート グループホームよこかわ	重度重複障害者のグループホームの取り組み
	2月19日	八王子管理栄養士の会 ぐらぐら 八王子地域活動栄養士会	健康長寿は食生活から
	3月19日	恩方地区防災協議会 八王子市生活安全部防災課	見つめよう八王子の防災を、考えよう災害に備えて
平成十七年度	4月16日	ひだまり喫茶	仲良く老いる
	5月18日	安全ネット八王子	地域で障害がある方も安全に、安心して暮すために
	6月18日	八王子・日野カワセミ会	野鳥の観察から環境の変化を考える
	7月16日	宇津貫みどりの会	みどりの回廊をめざす小さな市民団体の取り組み
	8月20日	八王子・子どもの居場所づくりプロジェクト	少子化の時代における子どもを中心としたコミュニティづくり
	9月17日	NPO法人CEセンター（子育て・教育支援センター）	不登校、LD／ADHDなどの子どもたちを支える新たな取り組み
	10月15日	子育てグループ ハッピースマイルママ	在宅育児の現状から子育て支援を探る
	11月19日	NPO法人東京養育家庭の会	養育家庭制度の現状
	12月17日	八王子お手玉の会	お手玉を通じた世代交流
	1月21日	いちよう祭り祭典委員会	みんなで作ったいちよう祭り
	2月18日	元気商店	それぞれの子どもの居場所づくり
	3月18日	スパー・キール	子どもの居場所づくり
平成十八年度	4月15日	八王子ビデオクラブ	ビデオの趣味を活かして地域コミュニティに参加
	5月20日	情報ボランティアの会（八王子）	パソコンをもっと活用しませんか
	6月17日	八王子住まいづくり市民塾	「八王子住まいづくり市民塾」誕生物語
	7月15日	NPO法人らいふ舎	市民活動とまちづくり
	8月26日	NPO市民ユニットりぼん	最後まで自分の家で暮したい
	9月16日	NPO法人ケアセンター八王子	タクシードライバーから福祉・移送サービスへ
	10月21日	NPO法人八王子服飾センター	プロの技とマシーンで表現する布の世界を広げよう
	11月25日	認定NPO法人21世紀協会	国際協力の現場から…少数民族を通して教育を見つめる
	12月16日	八王子にほんごの会	日本語学習支援を通じた国際交流
	1月20日	男の料理教室「ボパイの会」	男の料理とスローフードについて語り合おう！
	2月17日	八王子健康レクリエーション吹き矢の会	楽しい吹き矢で健康増進・ストレス解消！
	3月17日	社会福祉法人 全国介助犬協会	介助犬をご存知ですか
平成十九年度	4月21日	ヒーリングアート・パステルカフェ	脳いきいき心わくわくアート
	5月19日	八王子生涯学習コーディネーター会	生涯学習時代・あなたの生きがい、応援します
	6月16日	八王子・学生の子ども応援団	子どもと大学生のよりよい関わりをめざして！
	7月7日	おおきに	出会う・つながる スペース0☆100
	8月18日	カウンセリングスペース「まてりあ」	脳と心のリフレッシュ！ あっと驚く箱庭療法体験
	9月15日	NPO法人里山農業クラブ	農により里山を守る市民の取り組み！
	10月20日	さわやかトリム	心も筋肉も若返るトリム体操
	11月10日	すずしろ22	楽しくチャレンジ農作業！
	12月8日	ムッシュ手作りパンの会	パンづくりで心のリハビリを！
	1月19日	らくだの夢グループ	知らざあ言って聞かせやしょう！ 朗読・読み聞かせ、録音図書作成活動
	2月16日	八王子要約筆記サークル そらの会	サングラス・OHP／ノートテイク 要約筆記初体験
	3月22日	NPO法人東京スポーツビジョン21	八王子からJリーグ誕生をめざして！
二十年度	4月19日	きよびー&とまと	この指とまれ、市民の底力
	5月17日	NPO法人八王子チャイルドライン	子どもが元気になるために、大人ができること
	6月21日	グローバルアドベンチャー	カンボジアでの新しい発見！ 感動レポート

(資料一三)

市民活動入門講座開催のあゆみ

年度	開催日	テ ー マ	講師と開催場所
平成十五年 度	3月30日	(平成14年度・企画：協議会 主催：八王子市) 市民活動シンポジウム 地域のパートナーシップを考える	講師：山岡 義典 法政大学教授・日本NPOセンター常務理事 場所：北野市民センター
	11月1日	(企画：協議会 主催：八王子市) 市民活動でみんな元気になーれ 市民活動が「まち」を変える！	講師：松原 明 (シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会事務局) 場所：東浅川保健福祉センター
	2月1日	NPOマネジメント講座	講師：川北 秀人 (IHIOE「人と組織と地球のための国際研究所代表」) 場所：労政会館
平成十六年 度	7月4日	市民活動でみんな元気になーれ みんなで築こう 新しいまちの「地域力」	講師：安藤 雄太 (東京ボランティア市民活動センター副所長) 場所：東京工科大学第一学生会館
	1月29日	学生のパワーを生かそう！ 地域に・社会に・世界に	講師：吉永 鴻一 (支援センター長) 労政会館
平成十七年 度	7月23日	災害に強い地域をつくろう 中越地震から見た自主防災組織との連携	講師：八王子市防災課長 片倉自治会：菅野 泰好 南大沢学園五番街団地管理組合：落合 武志 場所：南大沢市民センター
	12月10日	地球温暖化防止を考える いったい、私になにができるの？	講師：春田 博 (エコネットワーク八王子代表) 場所：労政会館
	3月11日	ひとりの小さな力でも 子どもたちの未来が変わります！ みんなで取り組む子育て支援	講師：土屋 美恵子 (NPO法人保育サービスひまわりママ 前理事長) 場所：労政会館
平成十八年 度	3月9日	団塊・シニア世代が八王子を変える／市民の集い 地域に根ざしたコミュニティビジネス	講師：布川 千春 (有限会社 セルフィッシュネス代表取締役) クリエイイトホール
	3月20日	定年ライフ・あなたはどんなプランがありますか 地域があなたの力を待っています	講師：渡辺 重男 (マダム・トモコ顧問) 場所：沖電気工業株式会社
平成十九年 度	9月8日	八王子の魅力と課題 再発見 地域の魅力を創り出し、育てる時代がやってきた	講師：原田 親一 (八王子市産業振興部観光課課長) 場所：労政会館
	11月3日	NPOも稼ぐ時代！ 事例から学ぶコミュニティビジネス	講師：工藤 秀美 (ひとアンドまち研究所) 吉田 豊 (株・ショートワークス) 場所：クリエイイトホール第二学習室
	3月29日	どう創る、あなたのセカンドライフ 団塊・シニア世代が地域でいきいきと活動するために	講師：平井 昌夫 (株・経営ソフトリサーチ) 吉田 豊 (株・ショートワークス) 場所：支援センター
二十年 度	6月28日	起業支援の現場から！ SOHOに学ぶ事業経営 「身の丈企業」で八王子の活性化に貢献	講師：前田 隆正 (SOHO CITYみたか推進協議会会長) 場所：クリエイイトホール



5. 編集後記

月日がたつのは早いもので、平成15年6月に開設された「支援センター」も、あっという間に5年の歳月がたってしまいました。この間、支援センターの運営に携わったスタッフは延べ30人にもなり、設立当時の方々のご尽力に対してあらためて感謝申し上げます。

試行錯誤を繰り返しながらの5年間でしたが、支援センターの活動も少しずつ浸透してきているように思います。

このたび、5周年を記念して「センター祭り」の実施や「市民活動通信の特集号」の発刊と記念誌「5年の歩み」を作成することになり、盆と正月が一緒に来たような忙しさのなか、スタッフの協力のもとに何とかまとめることができました。

次のステップ10周年に向け、さらなる支援センターの発展を願いつつ・・・。

(スタッフ一同)



八王子市市民活動支援センターのご案内

- 名 称 八王子市市民活動支援センター
 - 場 所 八王子市旭町12番1号 ファルマ802ビル 5階
(八王子保健所の向かい側のビル)
 - 開館時間 火～土(休館日を除く) 午前10時～午後9時
日曜日・祝日 午前10時～午後5時
 - 休 館 日 毎週月曜日(但し、月曜日が祝日の場合は開館し、
翌日火曜日を休館とします。)
年末年始(12/29～1/3)
- (連絡先) 電話 042-646-1577
FAX 042-646-1587
E-Mail shien@shiminkatudo-hachioji.jp
URL <http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/shien-center>